

寿製菓

意見を交わす明治大の学生たち
(左) 26日、北栄町由良宿の町
中央公民館大栄分館

全国発信手法など紹介 地域活性化研究の明大生に



「北栄町の地域活性化」を研究している明治大商学部2年生3人が26日、同町を訪れ、

北栄町発のお菓子の全国発信について菓子製造会社と意見を交わした。

学生たちは、同町の特産を生かしたお菓子をを通して、町の魅力を

どう全国に発信するかを研究テーマに掲げている。今回は、商品開発やPRの手法について学ぼうと来町し、寿製菓(米子市旗ヶ崎)の山根理道総務本部長と意見交換した。

山根本部長は、商品を魅力的に表現する「魅せ方」や購入者の

興味を引く「キャッチコピー」など、同社の商品開発のキーポイントを紹介。「誰もやらなかったことに取り組むことに価値がある。自由な発想で商品づくりを考えてほしい」とアドバイスした。

学生たちは、新商品開発までのプロセスや宣伝方法などについて質問。寺本陽平さん(20)は「インターネットやアンテナショップの活用など、北栄町の発信の仕方を考えていきたい」と話していた。年度末に活性化策を町に提言する。

H21. 8. 27

日本海新聞